

●プロフィール

ハイペル教授は1946年カナダに生まれ、1975年にウォータールー大学工学研究科から工学博士を取得後、1976年に同大学工学部助手に着任、1981年に准教授、1985年に教授に昇任されました。2007年には大学著名教授（University Professor）の称号を授与されています。この間、40年にわたり社会システム工学の第一人者として、社会・技術・環境の間のインターフェイスに内在する複雑階層システムとその問題に対するコンフリクト解決、多属性意図決定分析、時系列分析など常に最先端の学際的研究をされてきました。その研究成果は膨大な量の研究論文として発表されており、現在でも毎年数多くの研究論文を発表されています。ハイペル教授は、2013年からカナダ王立協会科学アカデミーの会長を務められています。また、システム工学の賞として世界最高の評価を得ているノーバート・ウィーナー賞（IEEE（米国電気電子工学会）SMC学会、2000年）、米国水資源協会名誉会員賞（2011年）など多くの賞を受賞されています。



●防災研究所とのかかわり

防災研究所においては、外国人客員教授として1999年度に8ヶ月、招へい外国人学者として2000年度、2002年度、2004年度、2008年度、2012年度および2013年度にそれぞれ1～2ヶ月滞在され、「コンフリクト解決のためのグラフモデル」や「意図決定支援システムの開発」などをテーマに共同研究を進められました。また、これらの研究内容に関連した講義・ゼミナールを行い、社会防災に関係する分野の学生・若手研究者への教育を熱心に行われました。

これらハイペル教授との共同研究や彼の学生・若手研究者への長年にわたる研究・教育の実績は防災研究所の国際プレゼンスの向上に大いに寄与してきました。ハイペル教授にはこれまでのご貢献に深く感謝するとともに、今後も受賞者に授与される終身称号のDPRI Fellowとして、防災研究所の研究・教育に大所高所からご指導・ご助言いただければ大変ありがたいと思っています。